

# 12月定例会

# 一般質問

# 市政を問う

## 議員12名



**浜西** 財政健全化のために造成した土地・墓地等を、販売したらどうか。

**市長** ホームページやチラシ等により、宣伝しているが低迷している。

**浜西** 切串地区の北部墓地が多く残っているが、現状は。

**市民生活部長** 約67カ所残っているので、販売促進している。

**浜西** 小用、西の谷地区の移転用地の現状は。

**土木建築部長** 国道487号線開発の移転地ということとで分譲したが、該当者が広島や呉へ移転したので未分譲で残っている。

## 市有地の販売促進を

浜西 金満 議員

### 答 販売の促進をしている

**イノシシ対策について**

**浜西** 11月に江田島市内で初めてイノシシによる人的被害が発生しましたが、どのような対策があるか。

**市長** 捕獲班を増やすよう強化していき、又、牛を放牧して家畜等による荒廃農地の解消が、イノシシ対策の効果的な施策になるので、今後も、奨励していきます。

**浜西** 農業を活性化し、荒廃地を少なくすることが、イノシシを山奥に追いやることとなるので、牛放牧を含め、農業を活性化することを要望する。



▲ 閉校になった小学校

## 行政評価制度の導入を

山木 信勝 議員

### 答 部分導入を視野に検討

**山木** 行政評価制度は、職員の間で意識やコスト意識を高め、市のさまざまな仕事の成果を数値で公表するものです。

評価結果は、今後の計画立案や事務事業に実施に生かすとともに、予算編成や人員体制の見直しの判断材料として活用できるこの制度を導入すべきと考えるが。

**市長** 他団体の実施状況等も参考にしながら、まず、本市で測定・評価が可能な施策や事務事業について、部分導入を視野に入れ、検討していきます。

努めるべきであるが、来年度予算は「持続可能な江田島市実現のための財政基盤の確立」が図れるのか。

**市長** 「江田島市総合計画の推進」と「行財政改革実施計画の促進」を基本とし、限られた財源の中で、創意・工夫による徹底した「選択と集中」による歳出の抑制方針により、財政基盤の確立が図れる予算編成に努めます。

搬費や処分費を低減することや、工法等を工夫して下水道管渠の埋設を浅くするなど、コスト削減に取り組んでいます。今後とも、コスト意識を強く持ち、事業執行に努めます。

地・市有地の活用は、**市長** 土地の売却収入は、歳入の確保で有効な手段であり、現在ある分譲地のほかに、未利用土地の処分も含めて販売できるか検討し、少しでも効果があがるよう、販売促進を図ります。

## 公共工事のコスト削減を

**山木** 今後、さらなる公共工事のコスト削減を行い、納税者の信託に応えるべきと考えるが。

**市長** 本市も建設発生土を工事間で流用して、運

## 未利用土地・市有地の活用は

**山木** 学校跡地の未利用土地、旧町時代の放置している、いわゆる「塩漬け」の遊休市有地、立ち退き需要が見込めない市有地、漁業者のため市有地など売却できないままです。このような未利用土



▲ 本庁の窓口状況

City Hall

## 来年度予算編成

**山木** 本市の財政は、危機的な状況下にある。今こそ、健全な財政運営に